

近年、子宮頸がんは罹患率、死亡率ともに若年層で増加傾向にあります。しかし、正しい知識を持ついれば、自分で予防できます。大切な命を守るために、検診のこと、予防ワクチンのこと、この機会に知ってみてはいかがでしょうか?

A 一般的に子宮がん検診は、子宮頸がんの検査をしています。半年以内に不正出血がある場合、人間ドックで行っている婦人科検診は、子宮頸がん検診・子宮体がん検診どちらですか?
Q 一般的に子宮がん検診は、子宮頸がんは罹患率、死亡率ともに若年層で増加傾向にあります。しかし、正しい知識を持つれば、自分で予防できます。大切な命を守るために、検診のこと、予防ワクチンのこと、この機会に知ってみてはいかがでしょうか?

A 一般的に子宮がん検診は、子宮頸がんは罹患率、死亡率ともに若年層で増加傾向にあります。しかし、正しい知識を持つれば、自分で予防できます。大切な命を守るために、検診のこと、予防ワクチンのこと、この機会に知ってみてはいかがでしょうか?

自分で予防できる子宮頸がん

定期受診とワクチン接種が決め手



婦人科検診について

このコーナーでは、健診についてのさまざまなお問い合わせに対して、健診クリニックのスタッフが丁寧に答え、皆様が健診についてより関心をもち、健康診断を受診する機会が増加するように情報提供していきます。

初回接種後、一ヶ月後、六ヶ月後の計三回です。感染予防効果が何年くらい維持されるか、終生免疫となるのかは今どきはまだ不明です。ワクチン接種したら、子宮がん検診はしなくていいのですか?

ワクチン接種は検診の代わりにはならないので、接種をする必要があります。

Q 最近よくヒトパピローマ

ウイルスといつ言葉を聞きま

すが、ヒトパピローマウイル

ス(HPV)とはどのような

ものですか?

子宮頸がんの原因ウイル

スで、性交渉を持ったことの

多くの女性に感染します。

通常感染しても自然に治りますが、感染が長期化した場合、

がんの前段階(異形成)を経

ます。が、ヒトパピローマウイルス(HPV)が承認されて

いますが、当クリニックでは

まだ実施していません。ワク

チン接種の最も推奨される

年齢は、初診前である十一歳

から二歳で、このワクチン接種で

予防が可能になります。対象年齢を過ぎ

たが、実施されていますか?

A がんの前段階(異形成)を経

ます。が、ヒトパピローマウイル

ス(HPV)とほどのよう

なものですか?

子宮頸がんの原因ウイル

スで、性交渉を持ったことの

多くの女性に感染します。

通常感染しても自然に治りますが、

がんの前段階(異形成)を経

ます。が、ヒトパピローマウイル

ス(HPV)とほどのよう

なものですか?

子宮頸がんの原因ウイル

スで、性交渉を持ったことの